

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖隷こども発達支援事業所かるみあ富丘		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 14日		2024年 9月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2024年 9月 14日		2024年 9月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 2月 7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種訪問の体制ができている より正確なアセスメントを実現することができ、訪問先での効果的な支援内容の提案や実践につなげられる	訪問先での本人の状況・状態を、所内多職種で共有し、児童発達支援によるアセスメントと支援の実践も加味し、より効果的な環境整備や過不足ない支援の程度について協議している	園状況やこどもの状態に則した、職種(保育士、児童指導員、看護師、作業療法士、理学療法士、介護福祉士等)による支援体制を柔軟に構成する
2	施設内に併設するこども園より、保育・教育についての情報、状況について直接知ることができる	併設こども園より、指針や要領について情報や学びをいただきながら、実際の保育・教育に通じる園理念や方針を理解するための対話に努めている	関係施設の「全体的な計画」と自事業所の「支援プログラム」の連続性について理解を深め、こども支援の視点について統一化を図る
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問園数が少なく、訪問に係る効果測定が十分に行えていない	医ケア・重心児のインクルージョンへの取り組みが道半ば	地域の園においても、看護や介護の提供を充実させ多様な社会的環境の中で全てのこどもが過ごせるようにできるとよい潜在的な課題や改善すべき問題があるとすれば、現在の訪問先にて複数名職員により評価をいただく等、多角的視点で意見をいただける評価方法を検討する
2			
3			